

【様式1】 平成28年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	飛騨市	学校名	飛騨市立古川西小学校			
校長名	森本義彦	対象学年	全校児童	人数	300人	
活動名	ふるさと体験学習	時間数	40～50時間	継続年数	38年	
題材	1 自然環境(山野・河川・動物・植物・その他) [ふるさと探検、各学年遠足] 2 歴史(出来事・史跡・先人・その他) [ふるさと探検・ふるさと遠足] 3 文化(芸能・芸術・民話・風習・その他) [だんご・郷土料理・獅子舞] 4 地場産業(農業・水産業・伝統工芸・その他) [栽培活動・社会見学・牧場体験] ⑤ 地域との積極的な関わりをつくる活動 [老人福祉施設訪問・保育園交流] 6 その他( ) [ ]					
複数年継続するための工夫改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「土に親しむ」米づくりや栽培活動は、学校の近くに学校園や学校田を確保しているので、作業が容易である。また、地域の理解もあり、代々地域指導者に来ていただくことができています。</li> <li>・ふるさと体験学習に対して、地域の方が喜んで協力してくださるので、実際に体験することを大切にしながら、子どもたちの活動意欲を高めている。</li> </ul>					

1 ねらい

- ・体験を通して地域を知り、地域の方から知恵や生き方を学ぶことで、ふるさとに愛着と誇りをもてる子にするとともに、感謝の気持ちをもって地域の役に立つ甲斐性を身に付けさせる。
- ・地域で長年続けられている米づくりや作物の栽培活動を実体験することにより、土に親しみ、収穫の喜びを味わうとともに、自然の恵みへの感謝、お世話になった方への感謝など、物や人、地域に対する感謝の気持ちをもたせる。

2 活動の概要

(1) 栽培活動

① 学級園での栽培活動

資料1

学級園や地域の方にお借りしている畑で作物の栽培活動を行い、土に親しんで収穫の喜びを味わった。(1年生：さつまいも栽培・2年生：大豆、ポップコーン栽培・4年生：学校花壇での花作り・6年生：夏野菜栽培)

② 地元果樹園でのりんご栽培体験：3年生

資料2

校区にある果樹園へ出かけ、グループに1本のりんごの木を割り当ててもらい、地域の方の指導を受けながら、摘花・予備摘果・本摘果・マーキング等を行い収穫した。りんごを美味しく育てるための工夫・知恵を、体験を通して学んだ。今後、指導者への感謝の会、及び、次年度の3年生への引き継ぎ会を開催する。

③ 地域指導者の協力による米づくり：5年生

資料3

地域の指導者の協力を得て、田植え・稲刈り・脱穀の主要な3大作業だけでなく、代かき・肥料まき・田の草取り(ガス抜き)・田の水管理・かかし作り等、米づくりに必要なより多くの作業を体験し、よい米をどれだけでも多く収穫するための工夫や知恵を、体験を通して学んだ。

- ・米の作り方を学ぶ(指導者からの講話)・代かきと肥料まき・育苗見学・田植え
- ・田の草取り(ガス抜き)・田干し・夏季休業中の水管理と観察・オリジナルのかかし作り
- ・かかし立て・稲刈りと稲架がけ・脱穀
- ・収穫祭：餅つき、神輿担ぎ、獅子舞、取組発表等

資料4

(指導者や保護者を招いて)

- ・花餅づくり(花餅は、地域の公民館等の公共施設へ児童の手で届ける)

## (2) ふるさと体験学習

小学校6年間で、飛騨市の4町全てで何らかの体験をする。また、校区の14行政区全てを訪問し理解を深める。

### ① 牧場体験：1年生

資料5-①

校区にある牧場へ出かけ、牧場主から乳牛の特徴や世話の仕方などについて聞き、親牛や子牛と触れ合ったり、餌をあげたりした。

### ② ふるさと探検：2年生

資料5-①

生活科の時間を使い、校区内にある名所旧跡、公共施設、事業所などを巡り、地域についての理解を深めた。今後、子どもたちなりにまとめて発表会を開き、作成した資料は各区の公民館に掲示してもらうことにしている。

### ③ みだらし団子焼き体験：2年生

資料5-①

校区で団子屋を営んでみえる方を講師として招き、飛騨の味である醤油味団子を実際に自分の手で焼くことで、知恵や工夫に気付くと共にふるさとの味への理解を深めた。

### ④ 郷土料理教室：3年生

資料5-②

地元「飛まわり会」の方を指導者として招き、自分たちが果樹園体験で育てたリンゴを使ったお菓子づくりを行い、指導者へ届けて感謝の思いを伝えた。

### ⑤ ふるさと社会見学・山中和紙漉き体験：4年生

資料5-②、③

神岡町山之村地区では、特産の寒干し大根について講話を聴いた後、牧場体験を行った。神岡町市街地では、レールマウンテンバイクについて話を聴いたり実際に体験したりして、私たちのふるさとに住む人の町興しへの熱い思いに触れた。また、別日に河合町へ出かけ、山中和紙について話を聴いたり、実際に紙を漉いたりして、先人の知恵と工夫を感じ取った。

### ⑥ ふるさとの魅力再発見遠足：6年生

資料5-③、④

他所から古川に移り住んで、外国人観光客をメインに里山サイクリングなどを企画している会社の代表取締役の方を講師として招き、飛騨市の魅力について講話をお聴きした。その後、宮川町種蔵地区の方の案内で棚田や板倉を見学して、先人の知恵や工夫に触れた。また、古川町市街地では、古民家を案内していただいたり、6名の大工さんに、組木の技術やカンナがけの技術を体験させていただいたりして、飛騨の匠への理解を深めた。

## (3) 隣の保育園や老人福祉施設との交流

資料6

1年から6年まで、どの学年も積極的に園児や老人との交流を図り、喜んでもらえることを考えることにより人と人との絆づくりを学び、地域との積極的な関わりをつくっている。

## 3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子

### (1) 栽培活動

本校は農村部に位置し、現在も米や野菜を栽培している家庭は多い。「工夫して育て、収穫の喜びを味わう。自然の恩恵を受けて生活する。」そんな地域社会の営みの理解につながる活動となっている。また、これらの活動では、地域の方に指導を受けている。その方たちの話や交流を通して、人と協力し合っながら生活している地域の方の生き方に触れることができた。5年生の米づくりでは、御輿担ぎや獅子舞で地域の伝統文化を披露したり、登下校の見守り隊として活動してくださっている50名以上の方々に、感謝のメッセージを添えてお餅を届けたりした。また、公民館などの各地区の公共施設へ、花餅を作って届ける。

### (2) ふるさと体験学習

地域の方の理解と協力がなければ成り立たない貴重な体験学習となっている。どの学年の体験活動に対しても非常に協力的で、児童にとっては、そんな優しく親切な地域の方々に囲まれて育っていることを実感できる機会ともなっている。児童がお礼の手紙を書いて届けることで、協力していただいた方にも大変喜んでもらっている。6年生は、地元の方に指導していただいて、自分たちの手で地元の草を使った草木染めのハンカチを作り、お世話になった方に贈る。2年生は、ふるさと探検のまとめを各区に届けて、公民館に掲示し地域に啓発する。

## 4 活動による児童生徒の変容（伸長・成長等）

- 土に親しんで栽培活動を行って収穫の喜びを味わったり、地域の自然や産業、伝統文化や味にふれたり、様々な活動を試みえる地域の方々の生き方や考え方を知ったりすることで、豊かな自然と優しい人に恵まれたふるさとに対して愛着がもてるようになってきている。
- 地域の行事には積極的に参加するようになり、祭り等の地域の伝統文化を担う一員としても頼りにされるようになってきている。